



宇宙特急便



旅の途中(創業にまつわる話あれこれ)⑳

家具販売店チェーンの全国展開の勢いは凄まじい。熾烈な業者選考で元請倉庫会社は契約解消され仕事が無くなってしまった。菓子類配送を中心に新たにビール飲料配送、倉庫会社を通して学校給食等の業務用食材の冷蔵冷凍配送を、そして医薬品物流会社からは医薬品配送を受託した。どうせ倒れるなら前向きに倒れたい。話があればすぐ食いつくことを「ダボハゼのように」と言うがそれが結果的にリスク分散の助けになるとは知る由もない頃だった。日常化する物流統廃合、下がり続ける運賃、運転業務の他に無償の付帯作業、終業なき労働環境。消耗品と言っていい。運送屋風情が何を言う、代わり(の運送会社)はいくらでもいる、と何度聞いたことか。もう憑かれたようにトラック配送の合間に飛びこみ営業を続けた。平塚の工業団地周辺を営業していると地元同業者からあまりシマを荒らさないでくれ、と苦笑交じりに言われたことがある。その後、圏外の営業に専念するようになったが..。



いすゞ【EV】トラックがデモンストレーションにやってきた

走行距離は、夏、冬の空調・冷蔵冷凍装置・積載重量・坂道等、走行環境によって日当たり50~100kmを予想している。普通充電時間は車種によって5~11時間かかる。車両価格1000万円~1500万円以上(半分は補助金の支援)。かつてCNG(圧縮天然ガス)やハイブリッド車を導入したものの耐久性において既存のディーゼルエンジンには敵わなかった。まだ使える車歴なのに故障が多く泣く泣く二束三文で手放した。この事に全く何の救済措置もない事に悔しい思いをしたものだ。おまけに(補助金行政にはよくあることだが)後々にわたって事細かな報告書を求められることにも閉口した。新技術実装を広めるには補助金だけでは心もとないと思う。投資リターンやリスクを保證できるだけのアフターケアメニューも考えてもらいたい。



誕生日おめでとう。

29日 K.M



二十四節気

7日大雪(たいせつ)

雪がいよいよ降り積もってくる頃

21日冬至(とうじ)

昼が一年中で一番短くなる頃

日の出 6:47

日没 16:33

今月のひとこと

IT化、人手が減って人足らず。余ったお金はGAFA行き

日本は米テック企業の小作人

SPACE
EXPRESS
Co.,Ltd.

株式会社スペースエクスプレス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮 1-9-45
TEL: 0463-21-5522 FAX: 0463-21-5529
<http://www.spaceexpress.co.jp>

代表取締役 河面 直